



平成30年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年6月8日

上場会社名 サムコ 株式会社

上場取引所 東

コード番号 6387 URL <https://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理統括部長 (氏名) 竹之内 聡一郎

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成30年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第3四半期の業績(平成29年8月1日～平成30年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第3四半期	3,418	44.8	218		211		146	
29年7月期第3四半期	2,360	40.7	231		175		236	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第3四半期	18.25	
29年7月期第3四半期	29.38	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第3四半期	11,077	8,010	72.3	997.15
29年7月期	10,127	8,000	79.0	995.95

(参考)自己資本 30年7月期第3四半期 8,010百万円 29年7月期 8,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期		0.00		15.00	15.00
30年7月期		0.00			
30年7月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年7月期の業績予想(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	63.2	610		600		425		52.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料] 8ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年7月期3Q	8,042,881 株	29年7月期	8,042,881 株
期末自己株式数	30年7月期3Q	9,495 株	29年7月期	9,395 株
期中平均株式数 (四半期累計)	30年7月期3Q	8,033,438 株	29年7月期3Q	8,033,584 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに拡大しております。世界経済は、米国と欧州の経済が堅調に推移したことに加え、新興国経済の緩やかな回復が継続し、着実な改善を続けております。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界におきましては、世の中に存在する様々なモノがネットワークと繋がるIoT (Internet of Things) や人工知能 (AI) の進展により主にシリコンを材料とした半導体メモリーの需要が急増し、これに関連した設備投資が積極的に行われました。また、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット (注) においても、新たなモバイル機器や車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子) といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進んでおり、その中から本格生産への移行も進んでおります。

このような状況の下、当第3四半期累計期間はオプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや面発光レーザー (VCSEL)、電子部品分野の高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサー等の生産設備案件において商談が具体化し、国内外の複数顧客からの受注が大幅に増加しており、当第3四半期会計期間末の受注残高は2,747百万円 (前年同期比197.5%増) となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高が3,418百万円 (前年同期比44.8%増)、営業利益は218百万円 (前年同期は営業損失231百万円)、経常利益は211百万円 (前年同期は経常損失175百万円)、四半期純利益は146百万円 (前年同期は四半期純損失236百万円) となりました。

(用途別売上高)

用途	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	1,083,065	31.7	166.3
電子部品分野	1,124,576	32.9	39.9
シリコン分野	238,631	7.0	8.6
実装・表面処理分野	351,781	10.3	77.5
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	84,420	2.4	△14.7
部品・メンテナンス	535,704	15.7	△14.3
合計	3,418,179	100.0	44.8

(注) 当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケット

半導体製造装置業界には、シリコン (Si=ケイ素) を材料とした半導体の製造装置を販売する企業は多く存在しますが、当社は化合物半導体や電子部品の製造装置を主力製品としております。シリコンを材料とした半導体は主にD-RAM、フラッシュメモリーなどに用いられますが、当社の扱う化合物半導体はガリウムヒ素 (GaAs)、窒化ガリウム (GaN)、炭化シリコン (SiC) などを主体材料とし、シリコンに比べ高速信号処理に優れ、高電圧で動作したり、幅広い波長の光に反応したりと優れた特性を備えており、シリコンでは達成できない機能による用途・分野を日々開拓し、着実にその市場を拡大させております。現在、実用化されている主な用途・分野には、照明用 (青色LED) に加え車載用に需要が拡大している高輝度LEDや、通信用・小型プロジェクター向けに市場が拡大しているLD (オプトエレクトロニクス分野)、スマートフォンやタブレット型端末の普及で需要を牽引してきた高周波デバイス、省エネ対策として様々な研究開発が進んでいるパワーデバイスのほか、インクジェットプリンターヘッド、医療、ライフサイエンス、バイオなどで研究開発が進むMEMS (電子部品分野) などがあります。

化合物半導体製造装置の市場規模は、全半導体製造装置市場の10パーセント程度ではありますが、化合物半導体の加工は非常に困難であり、これを加工する半導体製造装置を製造するには高度な専門知識と技術の蓄積を要し、参入障壁の高い事業領域であります。当社は、創業以来この化合物半導体及び電子部品製造装置のマーケットに特化し、大学・官庁・研究機関などが主な販売先となる研究開発機市場に加えて、近年は電子部品メーカー・デバイスメーカー・情報通信機器メーカーなどの生産現場が主な販売先となる生産機市場に注力し、様々な電子機器に不可欠である高周波デバイス、キャパシタ、パワーユニットなどの電子部品市場での設備投資需要を取り込み、事業を展開しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第3四半期末の資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、7,440百万円で前事業年度末に比べ1,012百万円増加いたしました。現金及び預金が778百万円減少した一方、売掛金が1,377百万円、仕掛品が461百万円増加したのが主な要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,637百万円で前事業年度末に比べ62百万円減少いたしました。機械及び装置が39百万円減少したのが主な要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、2,267百万円で前事業年度末に比べ893百万円増加いたしました。前受金が481百万円、買掛金が434百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、799百万円で前事業年度末に比べ46百万円増加いたしました。退職給付引当金が21百万円、リース債務が14百万円増加したのが主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、8,010百万円で前事業年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が26百万円増加したことなどによります。自己資本比率は72.3%と前事業年度末比6.7ポイント低下いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期の業績予想につきましては、平成30年3月9日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,722,576	3,944,092
受取手形	117,588	150,712
売掛金	660,646	2,038,530
仕掛品	609,953	1,071,538
原材料及び貯蔵品	90,113	133,412
前払費用	7,930	13,564
繰延税金資産	73,490	73,490
未収消費税等	82,170	21,463
未収還付法人税等	99,184	—
その他	31,689	60,538
貸倒引当金	△67,510	△67,041
流動資産合計	6,427,832	7,440,301

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年4月30日)
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,038,714	1,040,220
減価償却累計額	△640,759	△665,665
建物(純額)	397,955	374,554
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△23,913	△24,106
構築物(純額)	1,400	1,207
機械及び装置	735,204	738,618
減価償却累計額	△600,846	△644,255
機械及び装置(純額)	134,357	94,362
車両運搬具	48,869	48,869
減価償却累計額	△36,419	△39,633
車両運搬具(純額)	12,449	9,235
工具、器具及び備品	205,132	210,824
減価償却累計額	△175,743	△182,373
工具、器具及び備品(純額)	29,388	28,451
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	43,558	55,163
減価償却累計額	△29,417	△30,271
リース資産(純額)	14,141	24,892
建設仮勘定	6,608	21,717
有形固定資産合計	3,127,139	3,085,258
無形固定資産		
特許権	3,386	1,862
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	186	126
水道施設利用権	1,550	1,339
リース資産	—	8,786
無形固定資産合計	8,086	15,077
投資その他の資産		
投資有価証券	227,421	207,106
関係会社株式	101,884	101,884
出資金	5,000	5,000
関係会社長期貸付金	55,904	35,925
繰延税金資産	68,270	75,493
差入保証金	76,340	82,068
保険積立金	29,161	29,161
その他	870	433
投資その他の資産合計	564,852	537,074
固定資産合計	3,700,078	3,637,410
資産合計	10,127,911	11,077,711

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	341,567	775,992
短期借入金	800,000	700,000
リース債務	4,040	9,018
未払金	79,246	51,310
未払費用	29,904	33,955
未払法人税等	15,369	76,423
前受金	49,728	530,810
預り金	24,933	18,145
賞与引当金	19,300	55,800
製品保証引当金	9,400	15,900
流動負債合計	1,373,490	2,267,355
固定負債		
リース債務	10,101	24,660
長期末払金	505	1,760
退職給付引当金	386,815	408,359
役員退職慰労引当金	356,039	365,048
固定負債合計	753,461	799,829
負債合計	2,126,951	3,067,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,663,687	1,663,687
資本剰余金		
資本準備金	2,079,487	2,079,487
資本剰余金合計	2,079,487	2,079,487
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	3,867,000	3,867,000
繰越利益剰余金	219,108	245,242
利益剰余金合計	4,145,608	4,171,742
自己株式	△10,580	△10,711
株主資本合計	7,878,202	7,904,205
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	122,756	106,321
評価・換算差額等合計	122,756	106,321
純資産合計	8,000,959	8,010,526
負債純資産合計	10,127,911	11,077,711

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)
売上高	2,360,667	3,418,179
売上原価	1,295,667	1,800,262
売上総利益	1,064,999	1,617,916
販売費及び一般管理費	1,296,366	1,399,088
営業利益又は営業損失(△)	△231,366	218,827
営業外収益		
受取利息	1,772	1,539
為替差益	51,837	—
補助金収入	1,836	4,004
雑収入	6,377	7,306
営業外収益合計	61,823	12,850
営業外費用		
支払利息	2,911	2,812
為替差損	—	16,846
雑損失	2,634	183
営業外費用合計	5,545	19,843
経常利益又は経常損失(△)	△175,088	211,835
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△175,088	211,835
法人税等	60,943	65,199
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△236,032	146,635

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	131,984	5.2	772,224	17.6	246,145	7.1
エッチング装置	1,398,748	55.7	2,561,096	58.3	1,905,233	55.3
洗浄装置	363,636	14.5	463,781	10.5	512,496	14.9
その他	618,386	24.6	597,341	13.6	780,572	22.7
合計	2,512,755	100.0	4,394,444	100.0	3,444,448	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	352,090	227,600	811,551	510,795	427,090	234,000
エッチング装置	1,300,265	513,248	3,157,669	1,766,719	1,825,317	611,435
洗浄装置	310,044	82,366	565,327	311,093	431,404	91,100
その他	604,154	100,268	596,782	158,559	757,261	97,480
合計	2,566,553	923,483	5,131,330	2,747,167	3,441,072	1,034,016

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第3四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年4月30日)		前事業年度 (自平成28年8月1日 至平成29年7月31日)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
CVD装置	144,220	6.1	534,756	15.6	212,820	6.8
エッチング装置	1,257,506	53.3	2,002,384	58.6	1,684,372	53.9
洗浄装置	333,878	14.1	345,334	10.1	446,504	14.3
その他	625,062	26.5	535,704	15.7	780,956	25.0
合計	2,360,667	100.0	3,418,179	100.0	3,124,652	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分 (地域別)	前第3四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年4月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成30年4月30日)		前事業年度 (自 平成28年8月1日 至 平成29年7月31日)	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
アジア	617,400	90.6	1,128,132	94.7	831,520	80.5
北米	26,317	3.9	36,072	3.0	69,399	6.7
欧州	37,782	5.5	27,657	2.3	37,782	3.7
その他	—	—	—	—	94,346	9.1
輸出販売高合計	681,500 (28.9%)	100.0	1,191,863 (34.9%)	100.0	1,033,048 (33.1%)	100.0

(注) () 内は総販売実績に対する輸出販売高の割合です。